

令和3年度事業報告

公益財団法人ふくおか公衆衛生推進機構

急速な高齢化や生活習慣の変化により、糖尿病、がん、心臓病、脳卒中等に代表される生活習慣病の増加が大きな問題となっています。国内において令和2年3月より急速に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、現在においても未だ収束を見通せない状況です。

このような中、令和3年度は、3法人合併後、年度を通して事業を推進した最初の年度でした。

コロナ禍により社会情勢や経済状況の不確かさが増す中、健診事業においては、厚生労働省から示された感染拡大予防策がガイドラインとして示されたことから、同ガイドラインに沿って本法人の対策マニュアルを策定し、令和3年度の健診事業を実施しました。

令和3年度は前年度に比べ事業実績は受診者が住民健診においては健診受診の回復傾向がみられましたが事業所においては未だコロナによる影響が残っており、安心して健診を受診していただく取り組みが求められました。

令和3年2月より開始された新型コロナワクチンの医療従事者向け接種も職員対象に5月に実施を始め、また地域の負担を軽減するために実施された職域接種についても福岡県警察より依頼があり8月と9月に実施しました。

また福岡県が実施している新型コロナワクチン接種モデルワクチンセンターの開設要請を受け令和4年1月より機構の福岡国際総合健診センターにて開設しています。

普及啓発事業では「がん征圧の集い」など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、無観客によるオンライン開催とし、基調講演およびトークショーをライブ配信し、講演等を事前録画し県のホームページから視聴できるようオンデマンド配信しました。

昨年は、中止となりましたリレー・フォー・ライフ・ジャパン福岡大会も福岡女子大学にて実施することが出来ました。

第69回福岡県公衆衛生大会を令和4年1月に実施予定でしたが、新型コロナの影響により中止を余儀なくされ、公衆衛生事業功労者20名に対する理事長表彰は郵送で行いました。

令和3年度で、56回目となる「がん研究助成金」は、応募43件の中から18の研究事業に対して計600万円の助成を実施しました。